武士の登場

ポイント１　武士と武士団

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

① 武士の成長

武士：もとは都の武官や地方の豪族などの有力者
朝廷や国府の役人になり，警備や犯罪の取りしまりなどを行うようになる

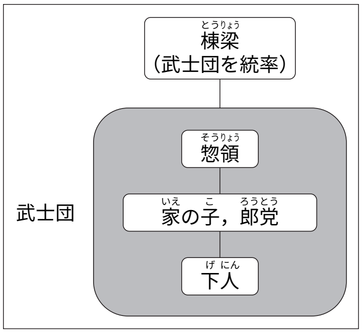
↓

10世紀ごろから地方で武士が勢力を拡大

↓

武士がまとまり **武士団** をつくる
有力な武士団：**源** 氏と **平** 氏

資料1 武士団の構造



② 争乱とできごと

争乱		できごと
935年～	**平将門** の乱	朝廷は武士の力で反乱を治める →朝廷が武士の力を認めるようになる
939年～	**藤原純友** の乱	
1051年～	前九年合戦	東日本　：争いをしずめた **源** 氏が勢力をのばす
1083年～	後三年合戦	東北地方：**平泉**（岩手県）を中心に **奥州藤原氏** が勢力をのばす
12世紀～	瀬戸内海の海賊などの反乱	西日本　：海賊をしずめた **平** 氏が勢力をのばす

資料2 藤原清衡が建てた中尊寺金色堂（岩手県平泉町）

ポイント 2 武士と荘園（しょうえん）

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

荘園 （私有地）	地方武士などが土地を開発して 都の貴族や寺社へ寄進 農民から集めた年貢を荘園領主に納める 代わりに土地支配の権利を認めてもらう
公領 （荘園以外の公有地）	国司は地方武士などに公領の支配を任せる

確認テスト

次の問いに答えなさい。

⑴ 武士団を率いる者を何というか。　＿＿＿＿　棟梁

⑵ 935年に関東で起こった武士による反乱を何というか。　＿＿＿＿　平将門の乱

⑶ 奥州藤原氏が岩手県の平泉に建てたものを何というか。　＿＿＿＿　中尊寺金色堂

⑷ 地方の武士などが寄進した，貴族や寺社の私有地を何というか。　＿＿＿＿　荘園